

製品名: PSD-93 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16591**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	DLG2
別名	DLG2; Disks large homolog 2; Channel-associated protein of synapse-110; Chapsyn-110; Postsynaptic density protein PSD-93
遺伝子 ID	1740.0
SwissProt ID	Q15700
免疫原	抗血清はヒト DLG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 601-650

背景

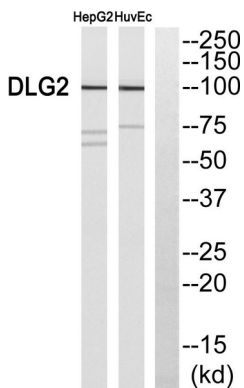
この遺伝子は、膜結合グアニル酸キナーゼ (MAGUK) ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、

シナプス後部位で相互作用して、受容体、イオンチャネル、および関連するシグナル伝達タンパク質のクラスター形成のための多量体骨格を形成する可能性のある、関連ファミリーメンバーとヘテロ二量体を形成します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。追加の転写バリエーションが記載されていますが、それらの完全長は不明です。[RefSeq 提供、2008年12月],ドメイン: アイソフォーム2はN末端近くにL27ドメインを持っています。機能: NMDA受容体シグナル伝達を介した慢性疼痛の知覚に必要です。脊髄後角ニューロンにおけるNMDA受容体の表面発現を制御します。NMDA受容体サブユニットの細胞質末端、および内向き整流性カリウムチャネルと相互作用します。コリン作動性シナプスにおけるシナプス安定性の調節に参与する。興奮性シナプスのシナプス後タンパク質骨格の一部である。PTM: アイソフォーム1のパルミトイル化はシナプス後肥厚部への標的化には不要である。類似性: MAGUKファミリーに属する。類似性: グアニル酸キナーゼ様ドメインを1つ含む。類似性: SH3ドメインを1つ含む。類似性: PDZ(DHR)ドメインを3つ含む。細胞内局在: 一部のニューロンの細胞体およびシナプス後肥厚部に集中している。サブユニット: 第2のPDZドメインを介してNOS1/nNOSと相互作用する(類似性による)。KCNJ2/Kir2.1のC末端とPDZドメインの1つを介して相互作用する。

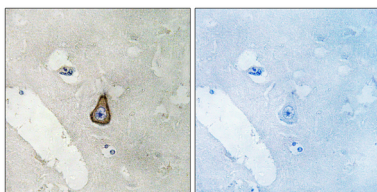
研究分野

神経科学

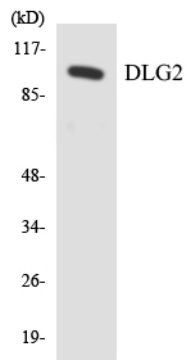
画像データ



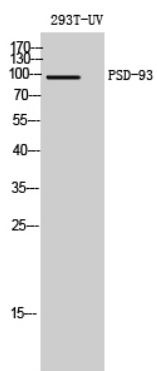
DLG2抗体のウェスタンブロット解析。右レーンがDLG2ペプチドでブロッキングされている。



DLG2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右レーンがDLG2ペプチドでブロッキングされている。



DLG2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した PSD-93 ポリクローナル抗体を用いた 293T-UV 細胞のウェスタンブロット解析